

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(工 ((建)1 年))

山本 真理子・非常勤講師 / 全学共通教育センター

1 単位 前期 金 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目: 『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『中国語 (1)』)

【授業の目的】 中国は近年目覚ましい経済成長を遂げている国であり、今後さまざまな分野において、日中間の人材交流がより活発になることが予想される。コミュニケーション上、言語は不可欠なツールである。この授業では、中国語学習の基盤となる正しい発音と基本文法を学んだ上で、さまざまな場面における基本的な会話表現をゆっくり確実に身につけていく。また、中国人の考え方、生活習慣、そして中国の文化や社会事情などについても随時紹介し、隣国である中国に対する理解を深めることも目的とする。

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生、あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関するビデオ教材や CD 等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

【キーワード】 中国語、ピンイン、中国事情

【到達目標】

1. 中国語のローマ字表記法 (ピンイン) に慣れ、正しい発音を確実に身に付ける。
2. 初歩的な中国語を使って、中国人とコミュニケーションができる。

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 発音 (1)
3. 発音 (2)
4. 第 1 課 (1)
5. 第 1 課 (2)
6. 第 2 課 (1)
7. 第 2 課 (2)
8. 中間試験
9. 第 3 課 (1)
10. 第 3 課 (2)
11. 第 4 課 (1)
12. 第 4 課 (2)
13. 第 5 課 (1)
14. 第 5 課 (2)

15. 期末試験

16. 総括授業

17. 第一回目の授業で詳細な授業計画を説明するので、必ず出席すること。

【教科書】 劉 穎, 喜多山幸子, 松田かの子 『1 冊目の中国語 - 会話クラス』 (白水社) 2,300 円 (必ず購入すること) ※後期も継続して使用する。

【成績評価の方法】 中間試験, 期末試験, 小テスト, 授業への取り組み状況により総合的に評価する。

【再試験の有無】 有

【講師へのメッセージ】 授業中は恥ずかしがらず、積極的に声を出して練習しましょう。予習・復習時には、教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ、「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができます。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220957>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 山本 .